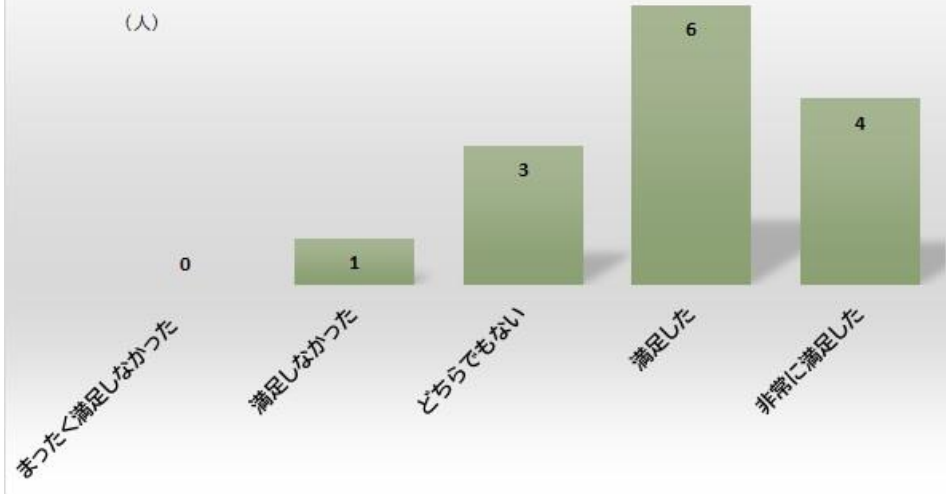
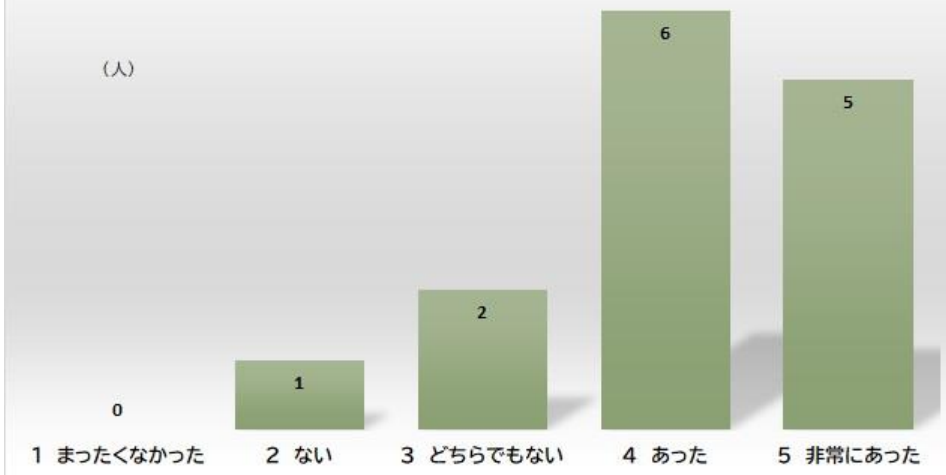


Q1 ワークショップには  
どのくらい満足されましたか。



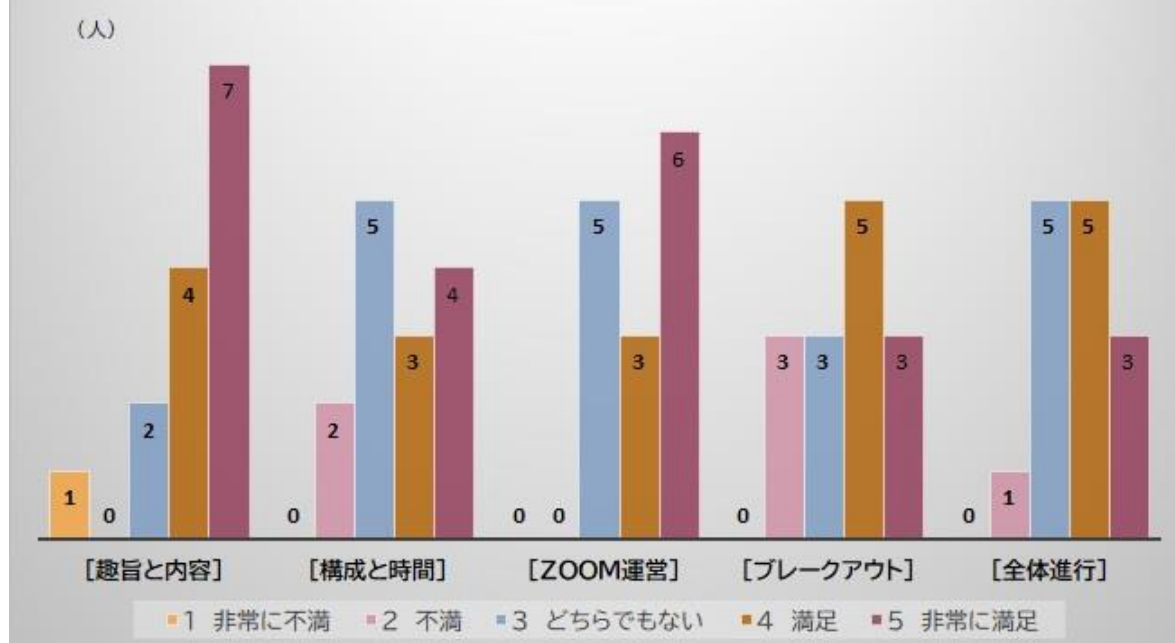
Q2 ご自分の仕事との関連性や、  
仕事に役立つ部分がありましたか。



Q3 ワークショップでは、主にどのようなことを習得しましたか。

- ・考えていたことを整理できたり、視野が広まり、深まった。
- ・共通言語や、お互いに配慮するということです。そのためには相手の背景を想像して接するという事です。
- ・自分の職種や立場からは見えない立ち位置の考え方
- ・自身のチームへの働きかけの特徴を知る
- ・職種に関係なく、心理的安全性をどう作るかを考えたことと、ユーモアが大事だと再確認できたこと
- ・多様性 理解のために歩みよる重要性、必要性
- ・多職種それぞれの立場からの思いと病院看護師の役割
- ・信念対立無くして真のチームはない
- ・多職種が連携する時は共通言語で自分自身からアプローチすることが必要である事

## Q4 以下の項目について、 どのくらい満足されましたか。



## Q5 ワークショップ運営に関するその他のフィードバック

・ブレイクアウトセッションは、ひとりの人がずっと話していましたね。それもまたわかりですが、少しルールがあってもいいかもしれません。

・知らなかった様々な活動を知ることができて良かった。

・なにもありません。

・ブレイクアウトルームの時間が短くて、不完全燃焼気味でした。30分くらいあるとよかったかな。

・質問コーナーがあればと思いました。

・各演者の話題提供に大変刺激を受けました。松村さんのユーモアのある司会が素敵でした。ただ、参加型というよりは、講義型のワークショップだったように感じます。いつもブレイクアウトが何度もあり、自分についての学びが多い印象だったので、予想と少し違いました。

・いつもありがとうございます。定期的な開催で、日常業務から一歩立ち止まる機会を貰っています。

・ブレイクアウトルーム交流が有効です。

・この学会に入っていなければ参加する機会がなかったであろうテーマなので、視野が広がり満足しています。次回の企画も同様であり楽しみにしています。

・2人目の介護職の方の話が医療者への批判のような発言でした。その後の登壇者とのやり取りも、それぞれの専門性についての話にフォーカスされていました。小部屋で話したときに、「その通りかもしれないけど、攻められていると感じた」、という声がありました。テーマと反して、自由に話せる安心感を奪っていたと思います。事実として起きている状況にどんなふうに取り組んでいるかが話題提供頂きたかったです。

・講師の話をもっと聞きたかった。

・ブレイクアウトセッションでグループが何名かわからず、しばらく入ってこない方もいて、初めの時間が有効に使えなかった。

・いつも普段は私などでは関われない方々と会話させて頂けるだけで貴重な時間を過ごすことが出来ます。

・特にありません。

## Q6 各セッションは、どのくらい役に立ったと感じましたか。

(人)



Q7 セッションや全体的な日程について他にコメントがございましたらご記入ください。

・ちょうどいいです。

・ワークショップには、一方通行で聞く時間が多いと思いました。

Q8 ワークショップ全体についてのフィードバックがございましたらご記入ください。

・とても勉強になりました。ありがとうございました。

・発表者の多様な背景は今回のテーマでは必要だったと思いますが、ブレイクアウトセッションの時間が短く、交流が少なかったのは残念でした。